

大阪で行われているかき養殖への技術支援

水産研究部 水産支援グループ

■ 大阪湾での「かき養殖」

大量生産可能

筏の設置できる海域が大阪湾では限られている

大阪湾で行われているマガキ養殖（筏式垂下養殖）の様子

従来の筏式よりも波浪に強く大阪湾全域で養殖が可能

種ガキ代が垂下養殖よりも高い

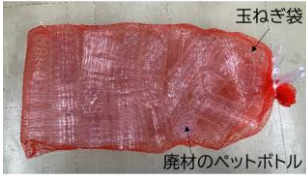
バスケット養殖の様子

自家採苗で解決！

■ 採苗技術の普及

一般的な採苗では必須の浮遊幼生の調査が不要で安価・簡単！

大阪産種ガキ（シングルシード）



大阪湾に適したペットボトル採苗器



潮間帯に設置した様子



ペットボトルに付着した稚貝



中間育成後の種ガキ

廃材を利用して作成



採苗後、約1年半で出荷サイズへ

- 自家採苗マニュアルを作成・漁業者へ配布
- 大阪府南部5漁協で採苗試験を実施（2023年夏）
→ 全ての漁協で問題なく採苗可能
- 大阪産種ガキで試験養殖を行い、約1年半で出荷サイズまで成長することを確認

■ 大阪でのかき養殖のこれから

生産量拡大に向けての支援

大阪産種ガキの安定生産と府内での流通体制の構築



消費量拡大に向けての支援

大阪産カキの養殖手法と味や見た目の関係を明らかに



測定、成分分析を実施

- ・殻のサイズ、身入り
- ・遊離アミノ酸総量
- ・セリン含量
- ・グリコーゲン含量など

味や見た目の特徴に合わせた販売戦略の検討